

新型コロナウイルスに関わる (競技ガイドライン)

2021年9月15日
池田市ソフトボール協会

(リーグ戦、大会、予選会の共通留意事項)

- (1) 三つの密（密閉、密集、密接）の発生が原則想定されないこと
(人と人との間隔はできるだけ2mを目安に)
- (2) 大声での発声、歌唱や声援、又は近接した距離での会話等が原則想定されないこと。
- (3) 手指の消毒設備の設置、マスクの着用、室内の換気等が講じられること。
- (4) 事業を開催する自治体の方針に従うことを前提とする。
- (5) 参加者全員へ本ガイドラインの周知徹底を図ること。
- (6) 事業開催時、主催者は衛生管理に関する責任者を指名し、本ガイドラインが正しく運用されているか確認すると共に改善を要する場合は指示を行う。
- (7) 事業関係者から感染者が出た場合の競技団体の責務の重大性を考え、チーム関係者、役員・スタッフ一同および事業参加者で感染拡大防止のためのガイドラインを遵守することを徹底する。
- (8) 会場への関係者の移動は、極力、公共交通機関を利用しないこと
- (9) 大会を開催する場合は、監督会議、開会式、閉会式、懇親会および人が密集するイベントは実施しない。
- (10) 各種会議など室内で実施する場合は、こまめな換気を行い会場への入退室時の消毒を徹底する※事務連絡などがつながる場合には、事前に参加チーム連絡責任者にメール等で周知する
- (11) 関係者（選手およびチーム関係者、その他各種事業の参加者）に疑い例が出た場合
 - ① 大会や各種事業の開催期間中に、検温で37.5度以上の発熱があった場合は必ず主催者に報告する
 - ② 37.5度以上の発熱が2日間以上持続した場合は、発熱のあるものを大会、事業から隔離する
 - a) 所属先および医療機関への連絡
 - b) 濃厚接触者の抽出
 - c) PCR検査および医療機関受診対象者の確認
 - ③ 陽性反応が出た場合の対応
 - a) 感染者本人は入院もしくは自宅療養（医療機関の指示に従う）
 - b) 濃厚接触者も自宅待機（医療機関の指示に従う）
 - c) 事業終了後、二週間以内に関係者より感染者が出た場合は、速やかに関係機関に報告
 - d) 以降の大会開催方法について即刻、協議を行う

(12) 加盟チーム、審判団は以下を留意し試合に参加すること

- ① 試合会場に到着後、「健康状態申告書」を本部へ提出する。提出された個人情報の取り扱いには十分配慮する（保管期間：一ヶ月以上）参加当日の朝に体調不良（発熱、倦怠感など）である関係者は、来場を禁止する
- ② ベンチ内、本部席でのマスク着用の徹底（プレー中の選手は例外）
入場の際に消毒液での手洗いを徹底する（各所に消毒液を設置）
- ③ 施設側と協力して、各諸室の消毒を徹底する
- ④ タオル・ペットボトル・コップ等の共用は避ける
- ⑤ 鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人はマスクや手袋をし、マスクや手袋を外した後は必ず手指消毒をする

(13) 競技上（練習含む）の留意点

- ① バット、ヘルメット、グローブ、打撃用手袋、ロジンバッグなどは各選手が使用し、可能な限り他の選手との共用を回避するように努め、共用せざるを得ない用具については、こまめに消毒を行う
- ② 唾を吐く行為を禁止する
- ③ 選手、特に投手は指を舐めてはいけない
- ④ 握手、ハイタッチ、グータッチ、ハグなどの身体的接触を避ける
- ⑤ グラウンドレベルでの円陣は控える
- ⑥ ベンチ内での選手間の距離は、できるだけ2m（最低1m）確保する
- ⑦ ベンチ内には消毒液を設置する
- ⑧ ベンチ内から声援や指示を出す場合は、対人距離に注意する
- ⑨ 試合前の打順表最終確認の際は、可能な限りお互いの距離を取り、監督、審判の握手は行わない
- ⑩ 球審はマスクもしくは飛沫防止用シールドを着用する
- ⑪ 球審は捕手に触れてはいけない
- ⑫ 監督、コーチが審判に近づく際は最低2mの距離を保つ
- ⑬ 試合開始時の整列及び礼は、球審の集合準備の合図で両チームがベンチ前に整列し、その場で礼をして行う。試合終了時も同様の形態とする
- ⑭ タオル・ペットボトル・コップ等の共用は避け、専用のものを持参すること

以上